データベース部門

学内の学術系データベース調査

データベース部門長/工学部　金丸　邦康

本学内の学術系データベースについて、コンテンツ内容、運用などについて、調査を行いました。センター運営委員経由の調査、学内の Web 情報等から調査しました。これまでの調査で明らかとなった学術系データベースの名称は下表の通りです。各データベースの概要は次項に掲載しています。

表：学術系データベースの名称

番号	名　称	部　局
1	教育実習関連情報データベース	教育学部
2	教育実践資料データベース（Excel ファイル）	教育学部
3	流体熱物性関係データベース	工学部
4	戦前期文献・資料検索システム	経済学部東南アジア研究所
5	古資料書誌データベース	経済学部東南アジア研究所
6	ナショナルバイオリソース病原微生物	熱帯医学研究所
7	日本熱帯医学会データベース（熱帯病・熱帯医学データベース）	熱帯医学研究所
8	歯科用材料に含まれる成分元素データベース	歯学部
9	被爆者データベース	医学部原爆後障害医療研究施設
10	長崎学デジタルアーカイブズ	附属図書館
11	ガラパゴス諸島画像データベース	附属図書館
12	長崎大学 学術研究成果リポジトリ（NAOSITE）	附属図書館

また、これらのデータベースについて、学術面での貢献を学内に周知する目的で、情報発信用のウェブコンテンツを作成しました。データベースの基本から、データベースを自分で構築したい人までを対象に、コンテンツを拡充していく予定です。近々公開いたしますのでお楽しみに。

資料　学内の学術系データベースの運用状況

「学内の学術系データベース調査」にて紹介しました、データベースの概要です。リンク先も掲載していますので、興味のある方は随時ご参照ください。

番号	1	
名称	教育実習関連情報データベース	
設置	教育学部	
概要	本データベースは、学生の教育実習での体験を中心に、教育実習に関する情報を集積しインターネット上で発信することによって、学生の情報共有のニーズに応えるとともに、教育実践に関する異学年・異世代間交流、他大学の学生との学習交流を積極的に取り入れた学部授業の改善を支援する目的で構築されました。データベースの内容は、教科指導と教科外指導の２本立てで、前者には指導案、授業記録、授業ビデオ（部分）など、後者には児童生徒との触れ合い、教師としての心構えなど学生が教育実習を通して学んだことを掲載しています。	
リンク等	http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/center_2/project-j/index.html	

番号	3	
名称	流体熱物性関係データベース	
設置	工学部	
概要	日本熱物性学会が提供する流体および固体の熱物性データベースを、日本熱物性学会および産業総合研究所と共同で運用しています。熱物性データベースとしては CODATA や ThermML が有名ですが、本データベースは 1) 流体と固体の両方を扱うことができる、 2) インターネットを利用して分散型データベースとして運用できる、 という特徴を持っています。データベースに接続するには、専用のソフトウェア(Windows 用、無料。登録が必要)が 必要です。	
リンク等	http://riodb.ibase.aist.go.jp/TPDB/DBGVsupport/	

番号	4	
名称	ナショナルバイオリソース病原微生物	
設置	熱帯医学研究所	
概要	ナショナルバイオリソースプロジェクトの一環として、熱帯医学研究所が原虫のデータベースを構築しました。 熱帯医学研究所の課題名：「病原性原虫の収集、株保存と分析、その提供」 データベース構築の目的は以下の通り： (1)　研究・医療・医学教育機関からの病原性原虫の情報収集とその公開 (2)　病原性原虫株の保存と提供基地の構築、原虫株の他機関から熱研への移譲受け入れとその保存ならびに利用者への提供	

	(3)　病原性原虫株の性状分析と遺伝子保存と提供 (4)　感染者や感染動物からの新鮮な分離株の収集とその保存と提供 (5)　クリプトスポリジウム原虫感染症の検査と診断
リンク等	http://pathogenic.lab.nig.ac.jp/db/index.jsp

番号	**5**	
名称	日本熱帯医学会データベース（熱帯病・熱帯医学データベース）	
設置	熱帯医学研究所	
概要	日本熱帯医学会の学会誌・論文誌のデータベースで、論文を PDF ファイルで公開しています。同データベースでは、「日本熱帯医学会雑誌（1-31 巻）」（昭和 48 年 8 月～平成 15 年 12 月）および、「Tropical Medicine and Health(Vol.32-)」（平成 16 年 3 月以降）のバックナンバーが含まれております。日本学術振興会の「平成１８年度科学研究費補助金（研究成果公開 促進費）」により構築されたものです。 課題番号：189520、課題名：熱帯病・熱帯医学データベース	
リンク等	http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/society/jstm/	

番号	**6**	
名称	歯科用材料に含まれる成分元素データベース	
設置	歯学部	
概要	このデータベースは歯科治療に用いる様々な材料の成分元素をまとめたもので、歯科用金属アレルギーの診断や治療の支援を目的に構築されています。歯科用材料の製品ごとに含まれる元素を分析し、元素ごとに含まれている歯科用材料の製品リストを公開しています。歯科用材料の分類は合着・接着用材料、充填・仮封用材料、研磨用材料、印象用材料、義歯床用材料、その他の材料となっています。	
リンク等	http://www.dh.nagasaki-u.ac.jp/pros2/intro.html	

番号	**7**	
名称	被爆者データベース	
設置	医学部原爆後障害医療研究施設	
概要	同施設の資料収集保存部にて調査・収集・整理した情報のうち、被爆者に関する情報をデータベース化したものです。被爆者 111751 名の基本情報が登録されており、腫瘍性病変を有す 29647 名の情報を抽出可能となっています。 外部一般に対して、被爆者の年齢構成、死因別死亡割合の年次推移、受診者の年次推移を公開しています。	
リンク等	http://www-sdc.med.nagasaki-u.ac.jp/abcenter/dbindex.htm	

番号	8	
名称	長崎学デジタルアーカイブズ	
設置	附属図書館	
概要	附属図書館所蔵の長崎学に関する古典的資料群をデジタルデータとして保存し、データベースとして構築したものです。現在、デジタルアーカイブズに含まれるコレクションは以下の通り： ● 幕末・明治期日本古写真コレクション ● 日本古写真超高精細画像 ● 古写真仮想展示会 ● 中央図書館所蔵日本西部および南部魚類図譜（グラバー図譜） ● 経済学部分館所蔵貴重資料（武藤文庫） ● 医学分館所蔵近代医学史関係資料 ● 医学分館所蔵医学和漢古書目録	
リンク等	http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/search/ecolle/	

番号	9	
名称	ガラパゴス諸島画像データベース	
設置	附属図書館	
概要	このデータベースには、伊藤秀三氏が 1964 年より 38 年間 16 回にわたってガラパゴス諸島の植物 / 植生調査で撮影したスライド約 1300 枚が、デジタル写真として収められています。 このデータベースは、(独) 日本学術振興会平成１８年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の交付を受け、長崎大学附属図書館において開発・構築したものです。	
リンク等	http://gallery.lb.nagasaki-u.ac.jp/galapagos/	

番号	10	
名称	長崎大学 学術研究成果リポジトリ（NAOSITE）	
設置	附属図書館	
概要	長崎大学で生産された学術研究成果（研究紀要・学位論文・学術雑誌発表論文・テクニカルペーパー・各種教材など）を電子的に登録・保存しています。世界中の研究者に発信するための「電子的書庫」として設置されていて、学術研究成果の一元的な収集・蓄積・保存を行うとともに、外部に対して無償で発信・公開しています。	
リンク等	http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/	